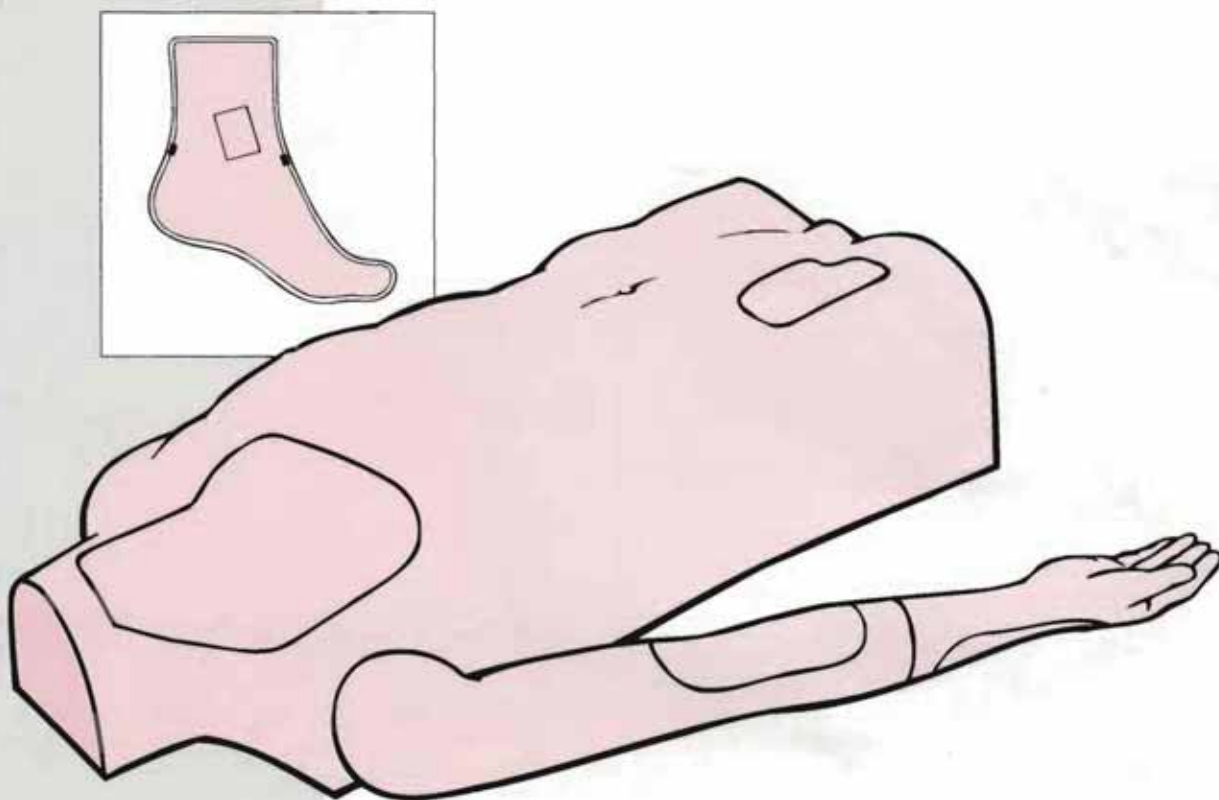


Laerdal IV Trainers

レールダル IV トレーナ

足 - 腕 - 手 - 胴体

取扱説明書



Laerdal
helping save lives

目 次

レールダル IV トレーナ 足	3
レールダル IV トレーナ 腕および レールダル IV トレーナ 手	4
レールダル IV トレーナ 胴体	6

保 証

本製品の部品および製造上の欠陥に対して、ご購入後1年間の保証をいたします。この保証は、通常のすり切れや破れ、汚れ、変色、表面の凹凸等の性能に影響を及ぼさないものについては適用されません。

また、認められていない修理または改造を行った場合、あるいは事故、誤使用または酷使によって装置が損傷した場合にも保証は適用されません。

製品に関する不具合、保証またはサービスに関するお問い合わせは、株式会社 アイカ松戸本社（〒271 千葉県松戸市上本郷88 Tel. 0473-61-3600）、またはお近くの弊社営業所、代理店にご遠慮なくお申し越し下さい。

注 意 と 警 告

鋭利な物の使用上の注意

訓練のためのメスや針のような鋭利なものの使用は、操作者に対して危険です。したがって、鋭利なものの使用および取り扱いには、訓練モデルに対しても実際の患者と同様の注意が払われなければなりません。

ラテックス・アレルギー

レールダル IV トレーナの交換パッドには、ラテックスが含まれています。ラテックス・アレルギーのユーザーは、交換パッドの使用あるいは取り扱いに際しては、ラテックスを含まない保護手袋を使用し注意して行って下さい。

クリーニング

ラテックス製パッドのクリーニングにアルコール類を使用しないで下さい。水のみをご使用下さい。

サ ー ビ ス

すべてのIVトレーナの部品は、交換することができます。壊れたり、消耗したどの部品も分解図と部品表によって識別することができます。交換部品は㈱アイカまたは代理店からご入手できます。

レールダル IV トレーナは分解・組立が容易なため、ほとんどの修理をユーザーご自身で行うことができます。



レールダル IV トレーナ 足

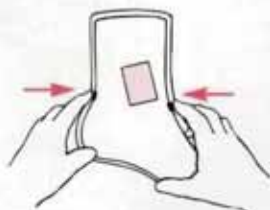
レールダル IV トレーナ 足 は、主に伏在静脈の静脈カットダウン技術の訓練のため設計されています。擬似静脈を内包したソフトパッドが備えられており、このパッドの取付け位置を替えることによって、1パッドにつき約10回の訓練を行うことができます。

レールダル IV トレーナ 足 は、ベース・プレート、足部シェル、交換パッド（5 個入 1箱）、取扱説明書および運搬ケースから構成されています。

使用 方法 と 保 守

足の分解

足の両側にあるタブを内側に押し、足部シェルを持ち上げます。



パッドの取付けと交換

新しいパッドの上端部を、ベース・プレートのスタンド（隆起部）の上端に合わせて配置します。

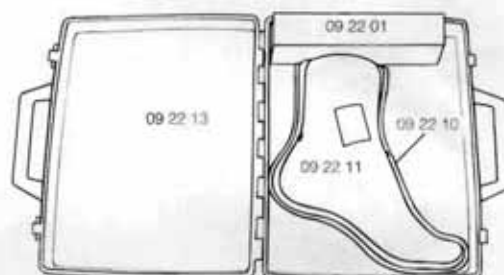


足部シェルを、スタンドの上に置きます。指でパッドをその位置に保持します。足部シェルを、足の外周部がベース・プレートのリムに適合し、タブがはめられるような位置に保ちながら、静かに押し込みます。



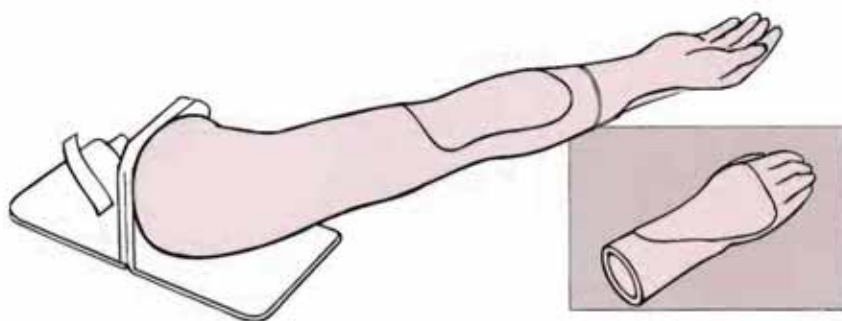
この位置で、1～2回の静脈カットダウンを訓練することができます。さらに訓練を行う場合は、シェルを外し、パッドをスタンドの上方に移動し、再びシェルを取り付けます。この新しい位置のパッドで、2回の静脈カットダウンが訓練できます。このステップをパッドが使用できる限り繰り返します。使用できなくなったら、新しいパッドと交換し、上端部から訓練を開始します。

部 品 表



09 00 22 レールダル IV トレーナ 足

09 22 01	足部交換パッド（5 個入）
09 22 10	ベース・プレート
09 22 11	足部シェル
09 22 13	運搬ケース
09 21 20	取扱説明書



レールダル IV トレーナ 腕 および レールダル IV トレーナ 手

レールダル IV トレーナ 腕 には、手の甲と上腕部の前肘窩の2つの静脈穿刺部位があります。これら2つの部位のくぼみには、人工の皮膚と擬似血液が充填された静脈を備えたソフトパッドが配置されます。

レールダル IV トレーナ 腕 は、手、上腕、ブラケット、手部交換パッド(2個)、上腕部交換パッド(2個)、擬似血液(250ml 1本)、取扱説明書および運搬ケースから構成されています。

レールダル IV トレーナ 腕 の構成部品である手は、レールダル IV トレーナ 手 として、単品でもご利用いただけます。これは、手、手部交換パッド(2個)、擬似血液(250ml 1本)、取扱説明書および運搬ケースから構成されています。

使用方法と保守

腕の組立



ケースからブラケット付の腕を取り出します。ブラケットから手を取り外し、図のように上腕の先端に押し込みます。



パッドの交換と取付け

パッドは、血液があらかじめ充填されているため、箱から取り出して組み立てた後、直ちに使用することができます。腕用のパッドには、手の甲の上に適合するものと、前肘窩に適合するものと2つのタイプがあります。パッドの配置方法は、両タイプのパッドとも同じです。



箱からパッドを取り出します。パッドを、適合する腕のくぼみに、固定ピンを差し込むことによって、取り付けます。

パッドを交換するには、新しいパッドに付属している、古いパッドを取り外すためのヘラを使用します。新しいパッドを、既に述べた方法でくぼみの中に取り付けます。

腕の動き

手の部分は、静脈穿刺のため最適な位置を確保できるように、手のひらの向きを下から上まで 180度回転することができます。

肩の連結部は、腕を上方と側方へ動かせるようになっています。

腕の分解



腕を分解するには、片手で上腕部を保持し、IVトレーナの手を手前に折り曲げるようにします。

擬似血液の再充填

人工皮膚と静脈は、針あるいはカテーテルを取り去った後に、自然にシールされるように設計されています。しかし、静脈内の血液量には限度があるため、訓練中あるいはフラッシュ・バックが不十分な時に消失した血液を補充するために、時々擬似血液を再注入する必要があります。擬似血液 250ml 入りボトルが、レールダル IV トレーナ腕に 1 本付属しています。注射器に 3～5 ml の血液を充填し、注意してパッドの静脈に注入します。カニューレを抜く前に行うことが、血液を周囲の組織ではなく静脈に充填するための最良の方法です。一度に多量の血液を静脈内に注入しないように注意して下さい。これは過度の圧を生じさせ、前に開けた穴を通しての血液漏れを引き起こします。



単なる再充填とは別に、この技法は様々な血圧のシミュレートに使用することができます。

他のマネキンへの接続



腕は、レールダル ALS トレーナ、レールダル IV トレーナ 胴体あるいはどのレサシ・アンのモデルにも接続することができます。

腕をブラケットから取り外すには、腕を上方の位置で保持し、そしてブラケットの外側に引っ張ります。

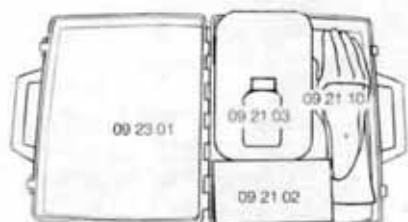
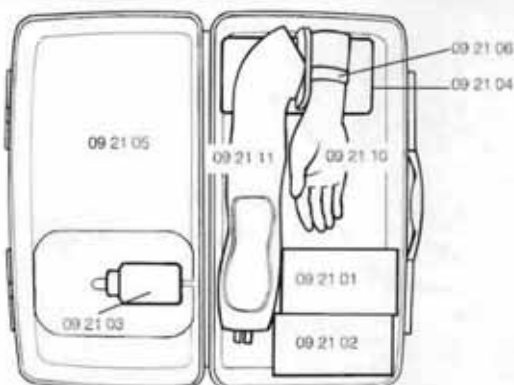
腕をレールダル ALS トレーナあるいはレールダル IV トレーナ 胴体に取り付けるには、腕を上方の位置で保持し、マネキンの右肩に肩の接続部を挿入します。次に腕を回して、水平の位置に下ろします。

腕をレサシ・アンに取り付けるには、初めに標準の腕を取り外します。それから、レサシ・アンの肩にアダプタ・リングを取り付け、IV トレーナの腕を取り付けます。

保 守

- パッドからカテーテルを引き抜く時は、脱脂綿あるいはガーゼで穿刺部位を圧迫して下さい。これにより、パッド表面の血液による汚れを減らすことができます。
- IV トレーナを取り扱う場合には、ラテックスあるいはビニール製の手袋を使用し、パッドが汚れるのを防いで下さい。
- パッドの擬似血液による汚れは、ぬるま湯で拭き取ってから乾かすことによって、除去して下さい。

部 品 表

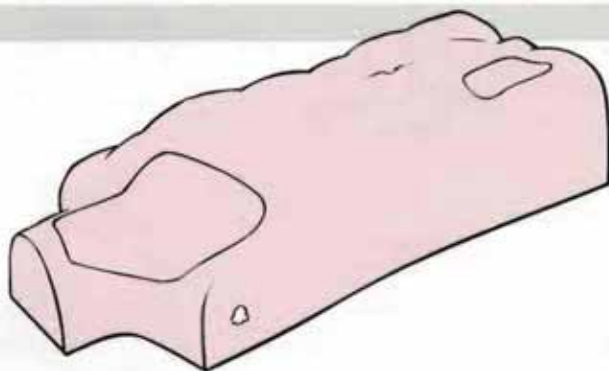


09 00 21 レールダル IV トレーナ 腕

- 09 21 01 上腕部交換パッド
- 09 21 02 手部交換パッド
- 09 21 03 擬似血液(250ml 入)
- 09 21 04 ブラケット
- 09 21 05 運搬ケース
- 09 21 06 ブラケット用ストラップ
- 09 21 10 手部
- 09 21 11 上腕部
- 09 21 12 アダプタ・リング(レサシ・アン用)
- 09 21 20 取扱説明書

09 00 23 レールダル IV トレーナ 手

- 09 21 02 手部交換パッド
- 09 21 03 擬似血液(250ml 入)
- 09 21 10 手部
- 09 21 20 取扱説明書
- 09 23 01 運搬ケース



レールダル IV トレーナ 胴体

レールダル IV トレーナ 胴体 には、頸／鎖骨下部および大腿部の2つの静脈穿刺部位があります。これら2つの部位のくぼみには、人工の皮膚と擬似血液が充填された静脈、触知できる動脈、骨および筋肉を備えたソフトパッドが配置されます。

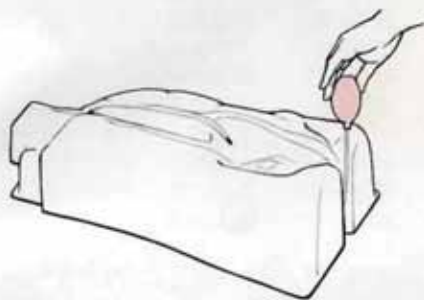
レールダル IV トレーナ 胴体 コンプリートは、内部および外部胴体シェル、脈拍チューブ・セット、擬似血液(250 ml入1本)、頸部交換パッド(2個)、大腿部交換パッド(2個)、頸部アナトミック・モデル、大腿部アナトミック・モデル取扱説明書および運搬ケースから構成されています。レールダル IV トレーナ 胴体 ベーシックの構成は、頸部交換パッドおよび大腿部交換パッドが1個となり、アナトミック・モデルが省略される以外は、コンプリートと同じです。

使用方法と保守

胴体シェルの分解



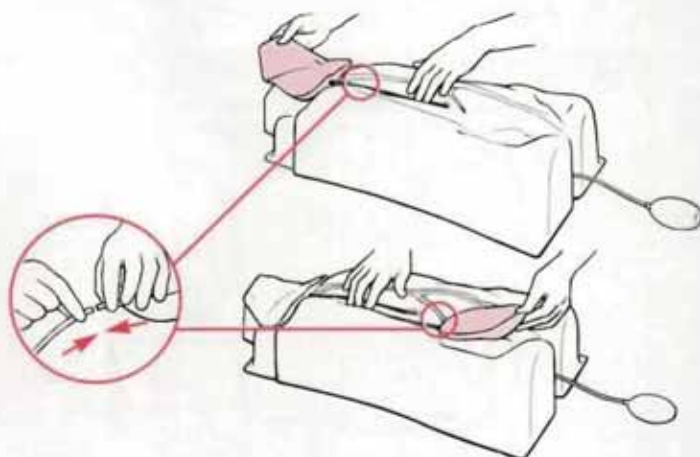
ケースから重ねられた胴体シェルを取り出します。外部胴体シェルの腰の部分に、親指で内側に押しながら、他の指で外側に引っ張ります。内部シェルから外部シェルが外れるまで、腰の部分を持ち上げます。



内部シェルのくぼみから、脈拍用ゴム球を取り出します。

パッドの取付けと交換

箱から頸部パッドを取り出し、内部胴体シェルのくぼみに合わせて配置します。長い静脈を内部シェルの溝にそって置きます。パッドのチューブを内部シェルの頸部にある脈拍チューブに接続します。



箱から大腿部パッドを取り出し、内部胴体シェルのくぼみに合わせて配置します。長い静脈を内部シェルの溝にそって置きます。パッドのチューブを、内部シェルの大腿部にある脈拍チューブへ接続します。パッドは血液があらかじめ充填されているので、箱から取り出して組み立てた後、直ちに使用することができます。パッドを取り外すには、脈拍チューブを取り外し、パッドを持ち上げるだけです。

胴体の組立



外部シェルの頸部を、内部シェルの頸部に対して斜めに配置します。外部シェルの腰の部分、親指で内側に押しながら他の指でフラップを外側に引っ張ります。外部シェルの、内部シェル上のパッドにフィットするまで押し下げます。

擬似血液の再充填

人工皮膚と静脈は、針あるいはカテーテルを取り去った後に、自然にシールされるように設計されています。しかし、静脈内の血液量には限度があるため、訓練中あるいはフラッシュ・バックが不十分な時に消失した血液を補充するために、時々擬似血液を再注入する必要があります。擬似血液 250ml 入りボトルが、レールダル IV トレーナ胴体に 1 本付属しています。注射器に 3~5 ml の血液を充填し、注意してパッドの静脈に注入します。カニューレを抜く前に行うことが、血液を周囲の組織ではなく静脈に充填するための最良の方法です。一度に多量の血液を静脈内に注入しないように注意して下さい。これは過度の圧を生じさせ、前に開けた穴を通しての血液漏れを引き起こします。



単なる再充填とは別に、この技法は様々な血圧のシミュレートに使用することができます。

脈拍のシミュレーション



ソフトパッドの動脈には空気のみが入っており、擬似血液は含まれていません。パッドが内部胴体シェルの脈拍チューブに接続されている場合は、脈拍用ゴム球によって、パッド上で脈拍触知のシミュレートを行うことができます。

保 守

- パッドからカテーテルを引き抜く時は、脱脂綿あるいはガーゼで穿刺部位を圧迫して下さい。これにより、パッド表面の血液による汚れを減らすことができます。
- IV トレーナを取り扱う場合には、ラテックスあるいはビニール製の手袋を使用し、パッドが汚れるのを防いで下さい。
- パッドの擬似血液による汚れは、ぬるま湯で拭き取ってから乾かすことによって、除去して下さい。

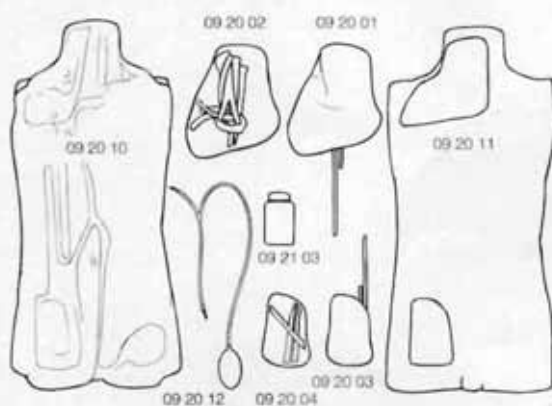
アナトミック・モデル (コンプリートのみ)

レールダル IV トレーナ 胴体 コンプリートにはさらに頸/鎖骨下部と大腿部の 2 つのアナトミック・モデルが付属しています。各モデルは、ソフトパッドと同様な材質で解剖学的構造を表しています。

これらのアナトミック・モデルは、標識点と様々なアプローチのデモンストレーションとディスカッションのために使用することができます。



部 品 表



09 00 20	レールダル IV トレーナ 胴体 コンプリート
09 00 19	レールダル IV トレーナ 胴体 ベーシック
09 20 01	頸部交換パッド
09 20 02	頸部アナトミック・モデル
09 20 03	大腿部交換パッド
09 20 04	大腿部アナトミック・モデル
09 21 03	擬似血液(250ml 入)
09 20 10	内部胴体シェル
09 20 11	外部胴体シェル
09 20 12	脈拍チューブ・セット
09 20 13	運搬ケース
09 21 20	取扱説明書

